

二〇〇九年度 一般入学試験 (B日程①)

国 語

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は26ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認してください。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んでうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があつてから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

国語

(60分 100点) (解答番号

1

50)

第一問 次の文章は浅田次郎「供物」の一節である。前夫(Ⅱ阿部)の暴力と浮気に耐えかね、子どもを置いて家を出た初江が、彼の死去の知らせを受けて二十年ぶりにかつての家を訪れ、祭壇に参ってワインを供えただけですぐに辞去した。これに続く次の場面を読んで、後の問いに答えなさい。(41点)

歩きながら、なぜこんなことをしたのだろうと思つた。義理を果たしたわけでもなく、憐れみをたれたわけでもなかった。しいて言うのなら、世間でいうけじめというものであろうか。

いや、夫はそのつもりで背中を押してくれたのかもしれないが、少なくとも初江の胸に、そんな世間なみの正義はなかった。足元に蠢き、体中を這い回る記憶のかげらにとどめを刺すつもりでここまで来た。(1) 目的が達せられたかどうかは、自分でもわからない。

掘割にかかる古い鉄橋まで戻つて、初江は立ちすくんだ。雪が降つてきたのだった。都会の光を映す低い雲から、造りもののように大きな牡丹雪が降つてきた。

初江は欄干にもたれて、黒い川面に吸いこまれる雪をナガめた。(2) 屋形舟の提灯は消えており、舟宿に人影はなかった。

この橋を渡りきれば、すべては嘘になるのだろうかと思つた。幸福のために捨て去つたものがどれほど重かろうと、忘れさえすれば罪は消えるのだろうか。

——忘れればいいじゃないか。

夫の声が甦つた。二十年の間、忘却の意志を支え続けてくれた一言だった。忘れ去られた人々からすれば、共犯者の使噓の声にちがいないが、今さら有難いと初江は思つた。…(①)

携⁽³⁾タイ電話を取り出して、電源を入れた。

どうしても歩き出すことができなかった。⁽⁴⁾背を押された同じ力で、腕を引き戻してほしかった。たった一度の呼び出し音で、夫は電話に出てくれた。

「もしもし。もしもし。どうした、ママ。今どこにいるの。何かあったの」

もう定年も近いというのに、少年のような声で夫は呼びかけた。答えることもままならず、初江は啜^{すす}り泣いた。

「泣いてたってわからんじゃないか。すぐに行くから、どこか暖かいところで待っていなさい。どこにいるんだ。電話を切るなよ」

愛されているのだと思つた。⁽⁵⁾子煩悩な夫が、子供らに対するのと同じほどの愛情を自分にも抱いていたことを、初江はようやく知つた。

「あなた、私ね——」

唇は凍えていたが、話さなければならなかった。

「私ね、あなたに言つてないことがあるの」

ただならぬ告白に、夫は沈黙した。

「大事な話は電話でするもんじゃないよ。何だつて聞くから心配するな。ともかく帰つてこい」

「ほんとに、聞いてくれますか」

「ああ、聞く聞く。ひとりで帰つてこられるか。迎えに行こうか」

「大丈夫よ。ちゃんと帰りますから」

夫はしっかりと手を引いてくれた。これで橋を渡ることができる。

それからしばらく涙がカ⁽⁶⁾ワくまで、初江は川面に消えてゆく雪を見つめていた。：（②）（

通りすがつた軽トラックが、川向こうまで行つて戻つてきた。人の降りる気配に続いて、「あの」という心細げな声があった。

振り向くと、油だらけの作業着の上に緑色のボウ寒コート(7)を着た、若い男が佇たずんでいた。

阿部に似ていると思った。あの男が真人間に生まれ変わったとしたら、きっとこんなふうだろう。

「俺おれのこと、わかりますか」

初江はこくりと肯うないた。鋼鉄の欄干に身をゆだねていなければ、腰が摧くだけてしまいそうだった。

何もかも忘れなければならなかった。(8)ひとつを忘れるために、すべてを忘れようとした。過去は時間が押し流してくれるが、時間の力では流しえぬものはこれひとつだった。

今さら会わせる顔などないと知っても、目をそらすことができなかった。

「お茶も出さずに帰したっていうから、どなりつけて出てきたんです。あいつ、気が強つええからね」

初江は顎あごを振って抗あがった。あの人に落ち度(9)はない、と言おうとしたがうまく声にはならなかった。

「ひでえ嫁だと思わなくてくれますか。気が強つええだけで、根はいいやつなんです」

そんなことはわかっている。自分などよりずっとよくできた嫁だ。女の言い返した言葉は強かったが、強い分だけやさしく、正しかった。

(10)二十年も自分を待ち続けていた子供は、泣きも嘆きもせずに微笑ほほえんでいた。∴ (③)

「俺おれのわがままを聞いてくれて、ありがとうございました。ばあさんはほけるわ、おやじには死なれるわで、俺もちょっと参まちまったんです。どうかしてたんです。まさか来てくれるとは思ってなかったから、今もまだ何が何だかわからなくて。ああ、どうしよう」

初江は捨てた子供の齡としを算かぞえた。算えることをやめてからは、誕生日も目をつむってやり過(11)ごしてきた。もし算えちがいでなければ、三十になるはずだった。

子供を捨てるのが離婚の条件であったにせよ、それを呑のむのは鬼のしわざだ。

ごめんなさいという言葉、初江はどうしても口にすることができなかった。それを言うためには、出会いが余りに唐突(12)すぎ

た。… (④)

「うまく行ってるよね」

初江は肯いた。今は幸せかどうかと訊ねたにちがいがなかった。

「俺が心配することなんか、何もねえんかな」

凍えついた声のかわりに、初江は二度肯いた。

⁽¹³⁾「うん、それならいいです。俺も何とかやってるけど、おふくろが心配するようなことは何もねえから。そんじゃ、これで」

おふくろ、という言葉が初江の胸に刺さった。こともなげに口にしたが、おそらく思いのたけをこめて織りこんだ一言にちが
いなかった。

何かを言わねばならなかった。もし黙りこくったまま別れたら、本物の

14

になると思った。

「みっちゃん」

声に出したとたん、初江は目をつむった。降りしきる雪とともに、夜空がクズれかかるような気がした。… (⑤)

工場(注3)に戻ろうとも言わず、送ろうともしない息子の聡明(注16)さに、初江は感謝しなければならなかった。おぼろな記憶を頼りにし

て、母の人生をよほど正確に予測していなければ、そのどちらかを口にするはずだった。

軽トラックの運転席に乗りこんで、息子はにっこりと笑った。

母はすべての記憶を消し去ろうとしたのに、この子はささやかな記憶を大切に育ててくれた。

「俺も女房も、ワインしか飲まねえんだ。もともと二人とも飲めねえんだけど、かっこつけて夕飯のときに一杯ずつ。そんなこ

と、知ってるわけねえのに。ごちそうさん。いただきます」

トラックは雪を巻いて行ってしまった。点滅したままのテールランプが、押し潰(注17)した嘆きに思えた。その輝きが角を曲がるま

で見送ってから、初江は闇(注17)に向かって頭を下げた。

橋からの道は、まっすぐに表通りの光をめざしていた。渡りおえてから、師走の雪の中に静まり返る鋼鉄の橋を振り返った。

舟宿の灯は消えており、岸柳の枝が風に騒いでいた。まるで彼岸を隔つ永訣の橋に思えた。⁽¹⁸⁾ふいに面影橋という名を思い出して、初江は歩きながら声を噺らして泣いた。

(浅田次郎「供物」による)

(注1) 夫——初江の現在の夫。

(注2) 使噺——指噺。そそのかすこと。

(注3) 工場——初江の前夫は町工場を経営していた。現在、息子がその跡を継いでいる。

問1 傍線番号(1)「目的」とあるが、どのような目的か。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマ

ークしなさい。

1

- ① 前夫の遺影を拝んで、死後の冥福を祈ること
- ② 前夫との間に残る法的な関係を清算すること
- ③ 前夫にまつわる思い出を完全に葬り去ること
- ④ 前夫に対する自分の恨みを再確認すること
- ⑤ 消えかかっていた前夫の記憶を更新すること

問2 傍線番号(2)・(3)・(6)・(7)・(15)と同じ漢字を使う語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

2
～
6

(2)

ナガメ

2

- ① 敵のチヨウ発にのる
 ② 天災の前チヨウに気づく
 ③ 窓からのチヨウ望にこだわる
 ④ チヨウ躍する
 ⑤ チョウ点を目指して登る

(3)

携タイ

3

- ① 友人を招タイする
 ② 税金をタイ納する
 ③ 奨学金をタイ与する
 ④ 包タイを巻く
 ⑤ 舞タイで稽古けいこする

(6)

カワク

4

- ① カン拓地を歩く
 ② 安カンとしていられない
 ③ 規制をカン和する
 ④ 血液が循カンする
 ⑤ カン杯の音頭をとる

(7)

ボウ寒

5

- ① 堤ボウが決壊する
 ② 流行性の感ボウ
 ③ 見事な技に脱ボウする
 ④ 会議の進行をボウ害する
 ⑤ 赤字がボウ張する

(15)

クズレ

6

- ① ホウ食の時代
 ② 傷口をホウ合する
 ③ 内閣がホウ壊する
 ④ 水ホウに帰す
 ⑤ 稚魚をホウ流する

問3 傍線番号(4)「背を押された同じ力で、腕を引き戻してほしかった」とはどういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

7

- ① 夫は過去を忘れればいいと言ってくれたが、それでも過去から抜け出せないでいる自分を救い出してほしいということ
- ② かつては前夫に離婚を強要されたが、今はもうすべてを水に流して、別れた息子とのよりを戻させてほしいということ
- ③ 夫は心の整理をつけるために前夫を弔うように勧めてくれたが、今度は現在の生活に連れ戻してほしいということ
- ④ かつては前夫に家を追い出されたが、今回はその家のしがらみを断ち切るのを、今の夫に手伝ってほしいということ
- ⑤ 夫は前夫の家を訪れ過去を清算するようにと促したが、それができないでいる自分を連れ戻しに来てほしいということ

問4 傍線番号(5)・(9)・(11)・(12)の本文における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選

びマークしなさい。

8

11

(5) 子煩悩な

8

- ① わが子を非常にかわいがる
- ② 子どもに理解のある
- ③ 子どものように純真な
- ④ 人並み以上に子ども好き
- ⑤ 子どもの世話に明け暮れる

(9) 落ち度

9

- ① 短所
- ② 他意
- ③ 過失
- ④ 遺恨
- ⑤ 誤解

(11) やり過ぎしてきた

10

- ① 気遣いながら暮らしてきた
- ② 過ぎ去るのにまかせてきた
- ③ 忘れようとしてきた
- ④ 過ぎたことも忘れてしまった
- ⑤ うっかりして過ぎしてきた

(12) 唐突

11

- ① 偶然であること
- ② 不意であること
- ③ 故意であること
- ④ 一瞬であること
- ⑤ 幸福であること

問5 傍線番号(8)「ひとつを忘れるために、すべてを忘れようとした」とはどういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

12

- ① 自分の半生を忘れるために、前夫のことも今の夫のこともすべて忘れようとしたということ
- ② 前夫のことを忘れるために、残してきた息子のこと、なにかもすべて忘れようとしたということ
- ③ 過去を忘れるために、息子と二十ぶりに再会したこともすべて忘れようとしたということ
- ④ 残してきた息子のことを忘れるために、自分の半生をすべてなにかも忘れようとしたということ
- ⑤ 再会した息子のことを忘れるために、彼の妻のこともすべて忘れようとしたということ

問6 傍線番号(10)「俺のわがまま」とは具体的にどういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

13

- ① 初江に過去の罪を償ってもらおうこと
- ② 初江に自分の妻を許してもらおうこと
- ③ 初江に自分の妻に会ってもらおうこと
- ④ 初江に自分の過去を聞いてもらおうこと
- ⑤ 初江に亡くなった父を弔ってもらおうこと

問7 傍線番号(13)「おふくろ、という言葉が初江の胸に刺さった」とあるが、この時の初江の心情を表す言葉として、最も適切

なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

14

- ① 息子の母への思いを痛切に感じ、申し訳なく思っている
- ② 息子の言葉に悲しみを感じ、自分の運命に憤っている
- ③ 息子を手放したことを後悔し、釈明したいと思っている
- ④ 息子の思いやりに感謝し、どう報いるべきか戸惑っている
- ⑤ 息子の抑圧された怒りを感じ、悲嘆に暮れている

問8 空欄番号

14

に入る語として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

15

- ① 子
- ② 母
- ③ 橋
- ④ 鬼
- ⑤ 愛

問9 傍線番号(16)「息子の聡明さ」とはどのような点をいうのか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一

つ選びマークしなさい。

16

- ① 息子を捨てたことで長い間自分自身を責め続けてきた母親を、許そうとしている点
- ② 母親の離婚後の人生や現在の生活には立ち入らずに、面倒なことを避けようとしている点
- ③ 過去とのつながりを断ち切って前向きに生きたいという母の意志を、理解している点
- ④ 息子に何かを言わなければ申し訳ないと思っっている母親の苦しみに、同情している点
- ⑤ 息子との失われた関係を修復したいという母親の強い願いに、こたえようとしている点

問10 傍線番号(17)「初江は闇に向かって頭を下げた」とあるが、この時の初江の心情を説明したものとして、最も適切なものを、

次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

17

- ① 捨てられたのに大して恨んでもいないばかりか自分を氣遣ってくれる息子の様子を見て、ほっと安心する気持ち
- ② 息子との再会で過去を清算し、前夫のことも息子のこともすべて忘れて、人生を新たにやり直そうとする気持ち
- ③ 息子を捨てた自分の罪を再認識し、自分を残して去って行った息子の冷たい仕打ちにじっと耐えようとする気持ち
- ④ つらい思いを味わわせたはずなのに、自分の気持ちを思いやつてくれた息子に感謝するとともに謝罪したいという気持ち
- ⑤ 息子に許されたことで後ろめたさがぬぐえたので、これからは過去と向き合って生きねばならないと自覚する気持ち

問11 傍線番号18「面影橋」とあるが、この橋は初江にとってどのような意味をもつのか。その説明として、最も適切なものを、

次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

18

- ① つらい過去を忘れさせ自分を支えてくれるもの
- ② 自分が捨てたものと自分とを隔てるもの
- ③ 現在の夫と自分とをつないでいてくれるもの
- ④ 現在から未来を見通すもの
- ⑤ 夢のような出来事から現実に関係を連れ戻すもの

問12 本文を内容の展開から二つの部分に分けた場合、前半はどこまでか。本文中の(①)～(⑤)の中から一つ選び

マークしなさい。

19

問13 本文の表現の特徴を説明したものととして、適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

20

- ① 初江が現在幸せな生活を送っている様子が、彼女を気遣い、念を押すように話す夫の口ぶりで表現されている。
- ② 息子の気さくな話しぶりによって、母子間の二十年の隔たりが急速に埋められていく様子が描かれている。
- ③ 初江が二十年前に捨てたわが子と束の間の再会を果たす場面が、抑制の効いた確かな文章によって描かれている。
- ④ 比喩や情景描写を用いることによって、自らの過去やわが子に対する初江の思いが効果的に表現されている。
- ⑤ 二十年ぶりに再会した初江と息子各々の心情が、双方の内面を巧みに描き分けることで、見事に映し出されている。

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(39点)

「仮想の地球社会」化は人々の視野を国家を超えて広げ、世界市民主義的価値の重要性を再確認させた。しかし人々は一つの地球社会を共有してはいないので、地球市民は生まれてはいない。市民とは、単に一般的な道徳感を共有するだけでなく、より深いレベルでの法的、社会的、精神的価値観を共有する存在だからである。道徳について言えば、古来から世界のほとんどの社会で最低限の道徳はそれほど異なっていなかった。嘘や盗みや殺人が許されないことはどこの社会でもほぼ共通である。

2 それは最低限の道義であつて、誰でもが食べられる栄養だけしかない宇宙食のようなものである。市民としての価値の共有とはより深いものである。たとえば、どのような行為が罪となり、どの程度の罰を受けるのかについて、ある種の共通感覚、つまり常識が共有されていなければならない。そのレベルでは、日本料理と西洋料理が違うように、現在でも人類は多様な価値観をもっている。そしてそのような深い価値の共有のある社会において初めて、人間は市民となるのである。この意味で人々は依然として地球市民ではない。そうした多様性を前にして、強制的民主化や普遍的司法権や人道的介入の範囲を広げることとは一見国際的な倫理的統一を強めるように見えながら、実際には世界の価値観の相違を強めてしまう危険をはらんでいる。

3 、普遍的倫理の実質化、内面化という「広い統合」の実現のためには、人類が全般的な価値観を共有する「深い融合」をともなつていなければならない。それでは「仮想の地球社会」は深い融合をもたらしえるだろうか。

コミュニケーション技術の発達は社会をいつそう強く結びつけると一般に考えられてきた。たとえばコミュニケーション技術の発達と近代ナショナリズムの形成過程とを結びつけ、前者が 5 的な国民を生み出す役割を果たしたという見解を支持する研究者は多い。政治学者カール・ドイチュは社会的コミュニケーションの増大が、統一された国語をはじめとする国民文化を生んだと指摘した。社会学者のアーネスト・ゲルナーや人類学者ベネディクト・アンダーソンも、近代的なコミュニケーション技術の発達が一体的な国民をつくり出す役割を果たしたと指摘している。

それでは、今日普及しつつある、国境を越えてグローバル化した現代のコミュニケーション技術は、かつて均質的な国民を生

み出したのと同じように、地球社会を均質化し、さまざまな文化を融合して単一の地球文化を生み出すのだろうか。

現在のところ、そのような徴候は見えない。

6

7) 文化的多様化の傾向のほうが目立っている。実際、二十世紀の後半に

なって国家の数は急速に増大したし、自己主張を強める少数民族の数はいっそう多い。そしてアメリカの政治学者サミュエル・ハンチントンの論文「文明の衝突か？」（一九九三年）が話題を呼んだことが示しているように、人々は文化的、文明的対立を感じ、また恐れているのである。

かつてのコミュニケーション技術が国民統合的な機能をもったとするなら、グローバルな統合に向かっているように見える今日のコミュニケーション技術とは何が異なっているのだろうか。

第一に、現代のグローバルなコミュニケーション技術と近代的なコミュニケーション技術との質的な相違を指摘できよう。この点でマクルーハンの指摘は示唆的である。彼は、活字印刷技術が国家主義、産業主義、マス市場、識字と教育の普及をもたらし、「伝統的な集団から個人を解放し、もう一方で、個人と個人を合わせて巨大な権力の集合体にするにはどうするか、そのモデルを提供する」と指摘した。

マクルーハンは印刷メディアが中央集権的效果をもったことを論証した後、彼が電氣的メディアと総シヨウするもの（電信電話、ラジオ、映画、テレビなど）の性質とは大きく異なっていることを強調する。マクルーハンは一八四四年に実用化された電信の力を印刷メディアと対比して次のように指摘する。「文字文化の人間はすべて、もつとも進んだ意見が、画一的、平面的、同質的なパターンをもつて、『もつとも後進的な地域』へ、そしてもつとも文字文化の低い人びとへ拡大していくことを心の中で熱望している。電信はこの希望をうちくだった。電信のせいでも中央集権的な新聞の世界は徹底的に解体され」、「地方新聞は、従来は郵便局を介しての郵便サービスと政治的統制に依存せざるをえなかったが、新しい電信サービスという手段を手にいれることによって、この『中心―周縁』型の独占からたちまち離れることになった。……電気革命のすべての分野にわたって、この脱集中化のパターンはさまざまな装いのもとに現れる」。「電気メディアは空間的次元を拡大するというよりも、むしろ無効にしってしまうのである。電気によって、われわれはいたる所で、ごく小さな村にでもいるような、人と人の一対一の関係を取り

戻す。それは深層における関係であり、機能や権限のイ任とは無縁な関係である。……お説ハイ聴に代わって対話が生まれる。最高の権威者も若者と親しくことばを交わす」。

つまりマクルーハンの指摘では現代の電氣的メディアは、従来の印刷メディアが支えてきた中央集権的で抑圧的な国民国家を解体し、自由と平等をもたらす傾向をもつというのである。事実、マクルーハンはこの面を強調して「地球村 (global village)」という有名な概念を提出した。しかし、マクルーハンの分析が鋭い指摘を含む一方で、現代メディアが「ごく小さな村にでもいるような、人と人との一対一の関係を取り戻す」ことにはならないことも今日では明らかとなってきた。現代のコミュニケーション技術はマクルーハンの言うように活字印刷の時代からより以前の口誦文化の時代へと戻ったわけではなく、高度な科学技術に支えられている。それは文化人類学者の青木保の言葉を借りれば、極端に「速い情報」をやり取りするメディアであり、瞬間ごとの切り取られた情報を伝えるが、深い人間関係を形成する濃密な「遅い情報」を伝えることはできないのである。

伝統的な社会でのコミュニケーションは、相互の心の中に相手への共感を生み、そこに理解が成立する。活字によるコミュニケーションは共感の代わりに読み手の想像力をカン起す。これに対して、電氣的メディアによるコミュニケーションは共感を呼びさますには速くかつ細分化されすぎているし、あまりに我々の情緒の近くまで迫ってくるため、想像力の働く余地もない。マクルーハンの説くように、電氣的メディアは「想像の共同体」としての国民意識や中央集権的な国家を弱体化するかもしれないが、それに代わって地球市民を生み出すわけではないのである。

むしろ現代の電氣的メディアによるコミュニケーション技術は、そもそも共感をもちうるような相対的に小さな集団内で自己確認を強める傾向をもつようである。仮想の地球社会を生み出すコミュニケーション技術は、同時に文化的な分散化、多様化、差異化を促しもするのである。一九六〇年代頃から、政治的、社会的分析において「エスニック集団」とか「エスニシティ」という意識が強まってきたが、それは地球規模の電氣的メディアの発達と無縁ではない。映像や音声の伝達能力の向上は、印刷物による理性的ドウ察とは異なる、より精神的、感覺的な

18

意識を強化する機会を広げているのである。

(中西 寛『国際政治とは何か』による)

問1 傍線番号(1)「地球市民」の説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

21

- ① 強制的な民主化によって、深い価値の共有を内面化した人々
- ② 仮想の地球社会によって、世界市民の重要性を認識している人々
- ③ 共通の価値観をもちながら、ある種の感覚を共有する人々
- ④ 一つの地球に生きるものとして必要な、一般的な道徳感を共有する人々
- ⑤ 普遍的な価値や倫理を内面化し、一つの地球社会を共有している人々

問2 空欄番号

2

3

6

つ選びマークしなさい。ただし、重複は避けること。

22 へ 24 へ

24

- ① むしろ
- ② つまり
- ③ 一方
- ④ ところで
- ⑤ しかし

2

22

3

23

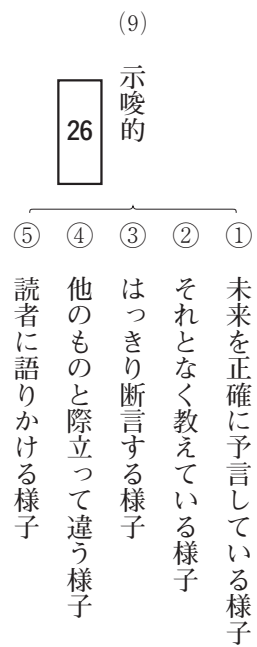
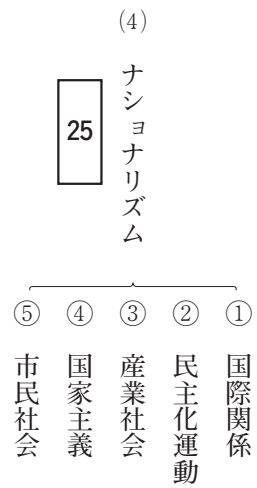
6

24

問3 傍線番号(4)・(9)の本文における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

25

26



問4 空欄番号 5 に入る語句として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

27

- ① 個性
- ② 文化
- ③ 同質
- ④ 近代
- ⑤ 民主

問5 傍線番号(7)「文化的多様化の傾向のほうが目立っている」とあるが、それはなぜか。その理由の説明として、最も適切な

ものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

28

- ① 現代のコミュニケーション技術は、想像力をかき立てて、直接一人一人の心の中に接近していくように働くから
- ② 現代のコミュニケーション技術は、想像力なしで共感できる小集団での自己確認を強めるように働くから
- ③ 現代のコミュニケーション技術は、文化的に分散化・差異化して、想像の共同体を形成するように働くから
- ④ 現代のコミュニケーション技術は、抑圧的な国家を解体し、人と人との対一の関係を取り戻すように働くから
- ⑤ 現代のコミュニケーション技術は、相対的に小さな集団内での伝統的な人間関係を求めるように働くから

問6

傍線番号(8)「質的な相違」の説明として、不適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

29

- ① 国民国家を支えるか、エスニシティを意識するかという相違
- ② 情報の受け手の想像力を促すか促さないかという相違
- ③ 中央集権的な傾向が強いか、分散的な傾向が強いかという相違
- ④ 深い融合関係を作る遅い情報か、切り取られた速い情報かという相違
- ⑤ 活字メディアか、電氣的メディアかという相違

問7 傍線番号(10)・(13)・(14)・(16)・(17)と同じ漢字を使う語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

30
～
34

(10)

総シヨウ

30

- ① 社訓をシヨウ和する
- ② 敬シヨウを略す
- ③ 国から表シヨウされる
- ④ 一シヨウに付す
- ⑤ 試合に連シヨウする

(13)

イ任

31

- ① イ外な展開だ
- ② イ労会を開く
- ③ イ儀を正す
- ④ 作家に原稿をイ頼する
- ⑤ 図書イ員になる

(14)

ハイ聴

32

- ① 名選手をハイ出する
- ② 許しがたいハイ信行為
- ③ 手紙にハイ啓と書く
- ④ 行き届いたハイ慮
- ⑤ 政治が腐ハイする

(16)

カン起

33

- ① 証人をカン問する
- ② 窓を開けてカン気する
- ③ 退職をカン告する
- ④ 損得をカンじように入れる
- ⑤ 文化にカン心を持つ

(17)

ドウ察

34

- ① 労ドウ時間の短縮
- ② 生徒を指ドウする
- ③ 拳ドウ不審な人物
- ④ 報ドウ番組を見る
- ⑤ 産業が空ドウ化する

問 8 傍線番号(11)・(12)の語句の品詞を、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

35

36

- ① 副詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 助詞 ⑤ 助動詞

(11)

35

(12)

36

問 9 傍線番号(15)「そこ」の内容として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

37

- ① 伝統的な社会 ② コミュニケーション ③ 相手の心の中 ④ 相手 ⑤ 相手への共感

問 10 空欄番号

18

に入る語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

38

- ① 道徳 ② 市民 ③ 帰属 ④ 潜在 ⑤ 国家

問11 本文の内容に合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

39

- ① コミュニケーション技術の進歩が社会を結びつけるという考えは間違いで、時代と共に人々は集団から個人へ向かう。
- ② 地球市民を誕生させるためには、強制的統一ではなく、電子メディアによる価値の多様性の拡大を図るべきである。
- ③ 現代のコミュニケーション技術は、人々の視野を国家を超えて広げると同時に、文化的には分散化を促す面をもつ。
- ④ マクルーハンは現代の電氣的メディアを過大評価しており、印刷メディアの功績を正しく評価していない嫌いがある。
- ⑤ 単一の地球文化を生み出すという理想は、現在のところ実現していないが、電氣的メディアはその可能性を有している。

第三問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(20点)

今は昔、葉師寺の別当僧都(注1)といふ人ありけり。別当はしけれども、殊に寺の物も使はで、極楽に生まれん事をなん願ひける。年(注2)老い、病して、死ぬるきざみになりて、念仏して消え入らんとす。無下に限り(注3)と見ゆる程に、よろしうなりて、弟子を呼びて言ふやう、「見るやうに念仏は他念なく申して死ぬれば、極楽の迎へいますらんと待たるるに、極楽の迎へは見えずして、火車(注3)を寄す。『こはなんぞ。かくは思はず。何の罪によりて地獄の迎へは来るぞ』と言ひつれば、車に付きたる鬼どもの言ふやう、『この寺の物を一年五斗借りていまだ返さねば、その罪によりてこの迎へは得たるなり』と言ひつれば、我言ひつるは、『さばかりの罪にては地獄に落つべきやうなし。その物を返してん』と言へば、火車を寄せて待つなり。さればとくとくとく一石誦經(注4)にせよ』と言ひければ、弟子ども手惑ひをして、言ふままに誦經にしつ。その鐘の声のする折、火車帰りぬ(注11)。さてとばかりありて、「火車帰りて、極楽の迎へ、今なんおはする」とて、手を摺りて、悦(注12)びつつ終はりにけり。

〔宇治拾遺物語〕による

(注1) 別当——寺務を統括する長官。

(注2) きざみ——際きわ。

(注3) 火車——悪事を行った者を死後に地獄に運ぶ、火の燃えている車。

(注4) 一石誦經——一石(十斗)の米を施物として、声を出して經を読むこと。

問1 傍線番号(1)「し」・(3)「見ゆる」・(5)「死ぬれ」の活用の種類の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

40

- ① (1) サ行四段活用 (3) ラ行四段活用 (5) ナ行変格活用
- ② (1) サ行四段活用 (3) ヤ行下二段活用 (5) ナ行下二段活用
- ③ (1) サ行変格活用 (3) ヤ行下二段活用 (5) ナ行変格活用
- ④ (1) サ行変格活用 (3) ラ行四段活用 (5) ナ行下二段活用
- ⑤ (1) サ行四段活用 (3) ラ行下二段活用 (5) ナ行変格活用

問2 傍線番号(2)「で」の文法的説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

41

- ① 打消の接続助詞
- ② 逆接の接続助詞
- ③ 順接の接続助詞
- ④ 場所の格助詞
- ⑤ 方法・手段の格助詞

問3 傍線番号(4)「見る」とあるが、だれが何(だれ)を見るのか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

42

- ① 僧都が極楽浄土を
- ② 僧都が鬼どもを
- ③ 弟子が鬼どもを
- ④ 弟子が火車を
- ⑤ 弟子が僧都を

問4 傍線番号(6)「一年」の本文における意味として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

- ① 一年間
- ② 今年
- ③ 昨年
- ④ ある年
- ⑤ 毎年

43

問5 傍線番号(7)「さばかりの罪」の具体的な内容として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

- ① 念仏を唱えるのを怠ったこと
- ② 死ぬ間際になって極楽往生を願ったこと
- ③ 火車を待たせたこと
- ④ 寺の財産を無断で持ち出したこと
- ⑤ 寺の米を借りたまま返していないこと

44

問6 傍線番号(8)「返してん」の本文における意味として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

- ① いつかは返すつもりだ
- ② どうやって返したらよいだろう
- ③ きっと返そう
- ④ 早く返したい
- ⑤ とても返せないだろう

45

問7 傍線番号(9)「とく」の本文における意味として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

- ① 早く
- ② 必ず
- ③ 念を入れて
- ④ ひたすら
- ⑤ 何回も

46

問8 傍線番号(10)「手惑ひをして」の本文における意味として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

い。
47

- ① 身につまされて
- ② あわてふためいて
- ③ 大儀そうに準備して
- ④ 気持ちがいらだつて
- ⑤ つくづく嫌になつて

問9 傍線番号(11)「火車帰りぬ」とあるが、その理由として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

- ① 僧都が一石誦経して誠実に対応したから
- ② 僧都がどうしても極楽に行きたいと言ったから
- ③ 僧都がたくさん米を供えたことに鬼どもが気をよくしたから
- ④ 僧都が弟子とともに邪気払いの経を唱えたから
- ⑤ 清浄な鐘の音に鬼どもがいたたまれなくなったから

48

問10 傍線番号(12)「悦びつつ」とあるが、何を悦んでいるのか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

い。
49

- ① 鬼が退散して地獄へ行かなくてすんだこと
- ② 誦経の声と鐘の音に身が清められたこと
- ③ 寺から借りていた米を無事に返すことができたこと
- ④ 極楽へ行けることがわかったこと
- ⑤ 願いどおりに極楽往生できたこと

問11 『宇治拾遺物語』と同じジャンルの作品として、適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

50

- ① 栄花物語
- ② 堤中納言物語
- ③ 今昔物語集
- ④ 平家物語
- ⑤ 雨月物語